

# 産業厚生委員会行政視察報告書

報告者 吉嶺周作

調査日 令和5年10月11日～10月13日

調査地 10/11 愛知県長久手市 10/12 三重県いなべ市 10/13 愛知県常滑市

1日目 愛知県長久手市 10月11日(水)

調査事項 長久手市田園バレー交流施設めぐりん村

長久手市が、田園バレー構想の指針の1つである「ふれあい・交流・体験の場」として、平成19年4月に開設した。

都市近郊農業の活性化や地産地消、都市農業交流の促進を目的に、農産物直売所、パン工房などを備えた交流拠点施設として整備され、農を通じて誰もが交流し憩いふれあい楽しめる場として市内外から買い物・温泉など多くのお客で賑わっていた。

またこの施設までは小型無料バスが1時間おきに回送しており市民の方々も利用しているようでした。

本市においてもこのような交流施設をお魚センターの拡充を図り観光だけではなく、もっと市民が集う場所にしていければと考える。

# 産業厚生委員会行政視察報告書

報告者 吉嶺周作

調査日 令和5年10月11日～10月13日

調査地 10/11 愛知県長久手市 10/12 三重県いなべ市 10/13 愛知県常滑市

2日目 三重県いなべ市 10月12日(木)

## 調査事項1 まちづくり拠点施設「にぎわいの森」について

いなべ市は、三重県の最北端に位置し、土地の60%が森林となっているが近年は、東海環状自動車道(高速道路)の整備が進み、市内にインターチェンジが2カ所設置され流通においても地理的条件に恵まれていることから自動車関連企業などが進出し活力あるまちとして発展を続けている。

新庁舎も令和元年に開庁し、約100億円の工事費の中で3分の2が合併特例債で賄い3分の1が市からの負担となった。

広大な新庁舎内には、にぎわいの森があり自然の中に6店舗市外からの人気ショップが出店しており、県内外からの多くの人で賑わっていた。

2020年にはSDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に選定され、住みよさランキング2019年三重県内で1位、2021年マイナンバーカード交付率三重県1位と移住者も増えてきている。

## 調査事項2 「アウトドアシティいなべ事業の運営について」

### グリーンクリエイティブいなべプロジェクト1 キャンペーン事業

主に名古屋圏等の都市住民に対しグリーンクリエイティブいなべの世界観やにぎわいの森のPRを実施しており、農・食・アート・アウトドアといった明確なテーマを設けている。

2015年度からは地方創生交付金を利用し名古屋市内を中心としたキャンペーン活動を継続的に行っている。

## グリーンクリエイティブいなべプロジェクト2 ローカルセンスショップ事業

新庁舎の敷地内に整備した、にぎわいの森はまちづくりの拠点となっており出店する事業者については公募を行い分野・業態・パイオニア性、顧客からの支持経営者としての資質に加えにぎわいの森構想に共感しまちづくりへの参画を前提に事業展開することを条件としている。

結果として、名古屋市や大阪市から高い技術と独自の発想を持つ事業者が集まった。

## グリーンクリエイティブいなべプロジェクト3 生業事業

新庁舎建設地に程近い、旧市街地である阿下喜(あげき)地区では2015年以後、空き家や空き店舗を活用したセレクトショップ、食堂・カフェ・ギャラリーなどが次々と開業した。

まちの拠点となり単なる稼ぎとしての仕事だけではなく地域なりわいとのつながりの上に成り立つ生業を求める若者、その移住定住を推進することが大切であるとのこと。

市では起業・創業の場を求める若者に対し、空き家物件等の情報提供や物件改修サポートを行い生業創出への後押しをしている。

今後、本市においても新庁舎建設を検討していく中、にぎわいの森のような役所に用事がなくても市民が集い解放感のある場所として好まれる新庁舎を総合的に考えて枕崎にしかないものデザイン性・利便性に加え市民が集まってくる仕掛けを考えていかなければならないと考える。

# 産業厚生委員会行政視察報告書

報告者 吉嶺周作

調査日 令和5年10月11日～10月13日

調査地 10/11 愛知県長久手市 10/12 三重県いなべ市 10/13 愛知県常滑市

3日目 愛知県常滑市 10月13日(金)

調査事項 子育て支援について

核家族化、近所付き合いの希薄化により、家庭内・地域社会において育児に関する知識・知恵などの伝承や育児についての見聞、経験が少なくなっている。

また近隣においても相談相手が少なく不安感・孤独感が高まり育児に悩む親が増加してきている。

事業の目的として子育てに喜びを感じ、安心して子供を産み育てられる環境づくりを目指し、子育ての総合的な支援を図るため子育て総合支援センターを設置し子育て環境を整備するとともに、児童福祉の向上を図ることを目的としている。

## 「事業内容」

- (1) 子育て支援に関する情報の収集及び提供
- (2) 育児不安などについての相談
- (3) 子育て家庭のふれあい交流、学習会などの企画及び実施
- (4) 子育てサークルなどの育成、支援
- (5) 子育てボランティアの育成、支援
- (6) とこなめ子育て支援協議会の運営
- (7) 子育て支援関係機関及び団体との連携・調整

本市においても子育てに悩む親は大勢いると思うので子育て支援センターのような施設を設置し安心して子育てができる環境を整えるべきだと考える。